

第43回（令和6年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜小学校低学年の部＞応募総数：103

	学校名	学年	氏 名	題 名
最優秀	清水小	1年	有田 明	むしをたべるこわいくさ
優 秀	三崎小	1年	兵頭 月	「チョコレート」をよんで
	下川口小	2年	谷岡 柚奈	わたしもだっこされたいなあ
入 選	清水小	2年	弘田 杏	「メガネをかけたら」を読んで
	三崎小	2年	宮添 ひまり	しあわせになったクリ
	足摺岬小	2年	平尾 優空	「ごめんねでてこい」を読んで

【審査評】

物語の感想が多い中で科学物を1年生が選んでいたのが興味深い。
 読んで一つ一つの感想から読み取る力が感じられる。
 本を読むことによりもっと知りたいという世界の広がりがあった。
 物語が多かったのでいろいろなジャンルの本を読んでほしい。

第43回（令和6年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜小学校中学年の部＞応募総数：107

	学校名	学年	氏 名	題 名
最優秀	清水小	4年	谷川 照	していいことといけないこと
優 秀	清水小	3年	磯脇 颯	プラスチックせい品をどうしよう
	下川口小	4年	溝渕 成	かんきょうを守るために
入 選	清水小	3年	畠中 梨華	あきらめない気持ち
	三崎小	3年	川上 裕明	「広島原爆く」を読んで
	清水小	4年	植垣 希海	「子ネズミがたすかった」
	三崎小	4年	窪内 瑛音	「いつかの約束1945」を読んで

【審査評】

本の内容に触れて、共感したり考えたりした上で自分をみつめて書いた読書感想文を書いてほしい。
環境や戦争をテーマにした作品があり、これからの自分の行動を考えているものもあり、さまざまなジャンルの本を読んでいる。
中学年になると、まとまりのある段落で清書することが望ましい。

第43回（令和6年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜小学校高学年の部＞応募総数：111

	学校名	学年	氏 名	題 名
最優秀	清水小	5年	森 晃輝	「自分を大事にしたい」
優 秀	足摺岬小	5年	平尾 咲空	大切な人を守るために
	清水小	6年	江口 璃依紗	「ハジメテヒラク」を読んで
入 選	清水小	5年	松川 由彩	あきらめない心
	下川口小	5年	竹葉 陽風	「ぼくはうそをついた」を読んで
	三崎小	5年	宮地 寿人	「努力する大切さに気づける本」
	下川口小	6年	濱田 結芽	「タマゾン川」を読んで
	三崎小	6年	上田 光騎	「あるかしら書店」を読んで

【審査評】

感想文というより本の紹介の内容が多かった。
 自分の体験について触れている作品は読みごたえがあった。
 感想文の題名について、「～を読んで」という形のものが多かったので、テーマに沿って考えてつけるとよいと思う。

第43回（令和6年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

<中学校の部>応募総数：175

	学校名	学年	氏 名	題 名
最優秀	清 水 中 学 校	2年	扇喜 杏花	「大きな宇宙とわたし」
優 秀	清 水 中 学 校	2年	武政 あおい	現代を生きる私達
	清 水 中 学 校	2年	大島 響	知ること、考えることの大切さ
入 選	清 水 中 学 校	1年	谷川 拓	僕たちはどう生きるか
	清 水 中 学 校	3年	池浦 新大	高校への一歩
	清 水 中 学 校	3年	竹村 彩芭	自分の色

【審査評】

近年、清水中学校では夏休みの課題作文の中の一つとして読書感想文を設定し、選択した生徒のみが提出していたが、今年は国語科の宿題として読書記録を課し、それを基に2学期に授業の中で読書感想文の作成に取り組ませることで、ほぼ生徒全員が感想文を書くことができた。各自が読んだ本の印象に残った部分を中心に、自分の経験や体験と重ねて自分の生き方を考えたり、将来のことを考えたりする機会となり、本コンクールへの応募作品においても各テーマに沿って考えを表現することができている。読書対象として選ばれていた本は、映像化されたものや、社会的に話題になったもの、自分自身の経験や体験に重なるもの等多岐にわたっていた。

本の中の描写や表現について深く考えることができていた作品もあり、読み応えがあった。

清水中学校では今年度から朝読書の時間を取り、読む本も自分の年齢にふさわしい本を選ぶように声をかけている。市立図書館や学校図書館を利用する生徒も多く、本を読むことの良さを、本コンクールや授業、朝読書のような学校内の取組で今後も伝え、読書に触れる機会が少しでも増えるように声をかけ続けたい。

第43回（令和6年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜高等学校の部＞応募総数：53

	学校名	学年	氏 名	題 名
最優秀	清水高	1年	野村 綾花	友だちってなんだろう？
優秀	清水高	2年	宮村 建太郎	「大人になるってなんだろう」
入選	清水高	1年	山下 弘誠	ハッピーエンドになるまで

【審査評】

様々なテーマについて感性豊かに書かれた作品の多さに驚かされ、難しくも楽しい審査をさせていただきました。

そのなかでも、「友だち」とは何なのか、という身近な疑問からこれからの人間関係の築き方、他者との関わり方について考える作品。また、YouTubeで活動する筆者のエッセイから、自分が大人になる上で大切にしたいことを導き出す作品。そして、『銀河鉄道の夜』の美しさを味わい、人生における悲しみや辛さについて前向きに捉え直す作品の3つは特に優れたものだと思います。

このように、様々なテーマの作品に共感しながら、あるいは新たな疑問をもちながら、自分自身や自分を取り巻く物事について考えを深めていくことは、高校生として成長するよい機会となったのではないのでしょうか。

皆、この素晴らしい読書体験を通して視野を広げ、今後の高校生活を豊かで実りあるものにしてほしいと願います。